

1市の概要（H30年度）

人口	337,991人
保護率	1.16%

2支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり(件) 一月当たり	15.7
プラン作成件数人口10万人当たり(件) 一月当たり	2.5
就労支援対象者数人口10万人当たり(件) 一月当たり	1.1
就労・増収率(%)	63.0

3実施方法について

実施方法 委託（被保護者と一体的に実施）
（単年契約、プロポーザル方式）

事業費 28,915千円（困窮：7,229千円、被保護：21,686千円）

理由（委託）
○平成25年度にプロポーザルを実施して委託事業者を選定し、平成26年度から被保護者を対象として当該事業を実施している。【㈱ワークエントリー】
○平成27年度から、生活困窮者も支援対象者として拡充し事業を実施。

事業概要
○マネージャー1名、コーディネーター2名が常勤するとともに、カウンセラー、セミナー講師等を配置。
○受託者が市役所近隣に事務所を借り上げ、「チャレンジセンターまえばし」として、通所型の支援を実施。
○個別カウンセリング、セミナー、有償内職作業、就労訓練、ボランティア体験、職場見学、就労体験、マッチング支援、職場定着支援の実施により、段階的に就労に向けた準備支援を行っている。

その他特記事項 庁内連絡会等による制度周知を行うことにより、精神保健福祉担当部署から、就労による自立に向けた準備段階からの支援が必要なひきこもり等の相談者が自立相談支援機関へ繋がるようになり、利用者が増加している。

4事業実績（H30年度）

就労準備実績	利用者		就職者
	福祉就労へのつなぎ	就労支援へのつなぎ	
生活困窮者	6人	3人	4人
被保護者	15人	0人	5人

5事業実施のポイント ～職場見学・体験から雇用へ～

Point
企業見学、就労体験を通じて、様々な職種の企業へのマッチングを実施し、雇用側と雇用される側がお互いに状況確認した上で就労が始まるため、職場定着につながる。

●日々の支援の中で、対象者の特性をつかむ

通所ワークの活動を通じて、支援対象者の特性や振り返りによるカウンセリング等を行い、本人の状況や能力、意向に応じた就労先の確保に向けて、企業開拓を行っている。



6取り組んで良かったこと

すぐに一般就労することが困難な方への支援が可能となり、長期間ひきこもり状態の方が社会参画活動を通じて、就労することができるようになるなど、安心して就労の準備ができる場所となっている。